

確認

文法の窓3 単語の種類

教科書の要点

1 自立語・付属語 () に教科書の言葉を書き入れなさい。教 P.258
単語は、次の二つに分けることができる。

- ① () ● それだけで文節になれる単語。
- ② () ● それだけでは一文節になれない単語。

2 活用 () に教科書の言葉を書き入れなさい。教 P.258

下に続く語によって語の形が変化することを () といふ。単語には、活用するものとならないものがある。

活用する語	例 歩く 白い きれいだ です
活用しない語	例 山 小さな すぐに しかし さあ が

3 体言・用言 () に教科書の言葉を書き入れなさい。教 P.258

体言	活用せず、主語になる。	()
用言	活用し、() になる。	動詞・形容詞・形容動詞

基本問題

1 次の文の自立語には一線を、付属語には二線を引きなさい。

- ① 公園で同じ学校の生徒に会った。
- ② 九時までに宿題を終わらせた。

2 **も** 次の文の活用のある語に一線を引きなさい。

- ① 明日から雨が降るらしい。
- ② 重要な議題は、話し合うことができた。



3 次の一線の単語の品詞を後から選び、記号で答えなさい。

- ① 川沿いの遊歩道を走る。()
- ② 夏休みには、家族で旅行に行きたい。()
- ③ 田中君の趣味は、山登りだそうだ。()
- ④ 窓から美しい夕焼けが見える。()
- ⑤ 家に帰るとすぐ着替えた。()
- ⑥ 友達から本を借りた。()
- ⑦ 大きな荷物が、家に届いた。()
- ⑧ 図書館の中は、とても静かです。()
- ⑨ まあ、きれいな花！()
- ⑩ 雨が降り始めた。しかし、すぐにやんだ。()

- ア 名詞
- イ 動詞
- ウ 形容詞
- エ 形容動詞
- オ 連体詞
- カ 副詞
- キ 接続詞
- ク 感動詞
- ケ 助動詞
- コ 助詞

単語のねらい ● 単語の分類を理解し、品詞の働きや性質を覚えよう。 ● 文を構成する単語の品詞が分かるようになる。

4 品詞 () に教科書の言葉を書き入れなさい。教 P.258~260
単語を性質によって分類したものを品詞といい、十種類ある。

品詞	単語		働きや性質
	自立語	活用しない	
① ()	活用する	活用しない	● 述語になる。(用言) ● 言い切りが「段」の語で終わる。
② ()	活用する	活用しない	● 述語になる。(用言) ● 言い切りが「し」で終わる。
③ ()	活用する	活用しない	● 述語になる。(用言) ● 言い切りが「た(でも)」で終わる。
④ ()	活用する	活用しない	● 主語になる。(体言)
⑤ ()	活用する	活用しない	● 連体修飾語になる。
⑥ ()	活用する	活用しない	● 主に連用修飾語になる。
⑦ ()	活用する	活用しない	● 接続語になる。
⑧ ()	活用する	活用しない	● 独立語になる。
⑨ ()	付属語	活用しない	● 意味を添える、気持ちを養うなど。
⑩ ()	付属語	活用しない	● 語句と語句の関係、細かな意味を養うなど。

補助動詞 上の動詞に意味を添える動詞。「寝ている」など。
補助形容詞 上の用言に意味を添える形容詞。「たまらない」など。

4 次の文の体言には一線を、用言には二線を引きなさい。

- ① あの鳥には、大きいくちばしがある。
- ② この数学のテストは、とても簡単だ。

攻略 体言は名詞、用言は動詞、形容詞、形容動詞である。

5 次の文の一線のうち、補助形容詞を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 財布がどこにもない。 イ 二百円なら、そう高くない。
- ウ 朝早くは起きられない。

6 次の文の助詞には一線を、助動詞には二線を引きなさい。

- ① 晴れていたんで、ふとんを干した。
- ② 熊のような犬に追いかけられる。

攻略 付属語を探して、活用するかしないかで分けよう。

7 **も** 次の一線の単語の品詞を後から選び、記号で答えなさい。

① 天気予報によれば、明日は**①** ずこと曇っている**②** よつだよ。**③** でも、**④** 心配だから、この傘を持って行く**⑤** かな。
 ⑥ うん、そうだね。荷物が重くなるけれど、傘**⑦** があったらほうが安心だね。

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()
- ⑤ ()
- ⑥ ()
- ⑦ ()

- ア 名詞
- イ 動詞
- ウ 形容詞
- エ 形容動詞
- オ 連体詞
- カ 副詞
- キ 接続詞
- ク 感動詞
- ケ 助動詞
- コ 助詞

知識の泉 A 短・長 「帯に短したすきに長し」＝中途半端で役に立たない。

知識の泉 Q 「完璧」の意味は？

確認



文法の窓4 名詞

漢字遣場4 他教科で学ぶ漢字

漢字

1 漢字の読み 読み仮名を横に書きなさい。 △は新出漢字 ○は熟字訓

- ① 風 呂 ② 駐 車 ③ 掃 除 ④ 弥 生
- ⑤ 脊 椎 ⑥ 哺 乳 類 ⑦ 顕 微 鏡 ⑧ 塑 性

2 漢字の書き 漢字に亘して書きなさい。

- ① () の文字。 ② 麦の()。
- ③ 水分を()む。 ④ ()をはめる。

教科書の要点

文法の窓4

1 名詞 () から言葉を選び、() に書き入れなさい。 教 p. 262

名詞とは、活用の() 自立語で、() になることのできる単語である。

主語 述語 ある ない

基本問題

文法の窓4

1 **と出る** 次の文の名詞に一線を引きなさい。

- ① 駅の売店で雑誌を買った。
- ② 五十メートルほど西に学校があります。
- ③ アーブルは、昆虫の行動を研究した。
- ④ 僕の趣味は、本を読むことだ。
- ⑤ 彼が、一人でフランスに行くわけがない。



攻略 ④形式名詞は普通、平仮名で書くことに注意しよう。

2 **と出る** 次の文の一線を引いた名詞の種類を後から一つずつ

選び、記号で答えなさい。

- () ()
- ① 図書館を出たとき、空は晴れていた。
- () () ()
- ② 千葉県では強風のために電車が何本も止まった。
- () () ()
- ③ 私の学校の陸上部は、県大会で二位になった。
- () ()
- ④ そちらに見えるのは、西郷隆盛の銅像です。

A 普通名詞 I 固有名詞 U 数詞
E 代名詞 O 形式名詞



● 名詞の種類が分けられるようにならう。
● 名詞の成り立ちの違いを知り、見分けられるようにならう。

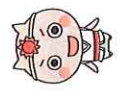
2 名詞の種類 () に教科書の内容を書き入れなさい。 教 p. 262

普通名詞	● 物事を表す() 名詞。	例 家 猫
⑥ ()	● 一人一人の人や、一つ一つの物などに付けられた名前を表す名詞。	例 東京 奈良
⑦ ()	● 物の数や順序を表す、数を表す名詞。	例 一人 三月
⑧ ()	● 人や物や場所などを指し示すのに用いられる名詞。	例 これ 僕
形式名詞	● もともとの意味をなくして、必ず() と結び付く名詞。	例 とき こと

3 いろいろな成り立ちの名詞 次の名詞の成り立ちを、後から一つずつ選び、記号で答えなさい。 教 p. 263

- ① 深み () ② ご両親 ()
- ③ 田舎 () ④ 続き ()

- A 転成名詞 (用言から名詞になったもの)
- I 形容詞の一部に接尾語が付いたもの
- U 複合名詞 (二つ以上の単語が結び付いたもの)
- E 名詞に接頭語が付いたもの



3 次の文の代名詞に一線を引き、代名詞の種類が人称代名詞ならア、指示代名詞ならイを書きなさい。

- ① どれを選びますか。() ② 彼女が描いた絵。()
- ③ 隣は誰の席ですか。() ④ あそこまで歩こう。()

攻略 人称代名詞は人を指し示し、指示代名詞は物事や場所を指し示す。

4 次の用言から名詞を作りなさい。

- ① 決まる () ② 近い ()
- ③ 暮らす () ④ 確かだ ()

5 次の各組の名詞の中から、種類の違うもの一つずつを選び、記号で答えなさい。

- ① A 一度 I いくつ U 五年 E 一郎 ()
- ② A 富士山 I 日本人 U 京都 E ドイツ ()
- ③ A 君 I 彼 U 兄 E あなた ()

6 次の文章中から、後の①③に当てはまる名詞一つずつ抜き出さなさい。

川に沿って歩くうちに、川の流れはだんだん急になってきた。そして、私たちは源流にたどり着いた。岩の間から流れ出る湧き水を手ですくってみると、驚くほどの冷たさだった。

- ① 動詞から名詞になったもの。()
- ② 形容詞の一部に接尾語で名詞になったもの。()
- ③ 二つ以上の単語が結び付いた複合名詞。()

知識の泉 A ア。〈例〉小学生のみことなピアノ演奏に舌を巻いた。

知識の泉 Q 「言葉自得」と同じ意味のことわざは？ 身から出た口

確認

文法の窓5 連体詞・副詞・接続詞・感動詞

漢字

1 漢字の読み 読み仮名を横に書きなさい。

- ① しば刈り
- ② 洗濯

2 漢字の書き 漢字に直して書きなさい。

- ① 洋服の()。
- ② しば()か()りをする。

教科書の要点

1 連体詞 () に教科書の言葉を書き入れなさい。

「 <u> </u> 」型	例この道 <u>その本</u> <u>あの街</u> <u>どの子</u>
「 <u> </u> ①」型	例大きな石 <u>いろんな人</u> <u>おかしな話</u>
「 <u> </u> ②」型	例たいしたもの <u>とんだ間違</u>
「 <u> </u> ③」型	例いかなる理由 <u>あらゆる国</u> <u>あるとき</u>

2 用法の特例 指示する語句に属する連体詞は、体言以外に接続することもある。例このものが本→よんだ(助動詞)に接続。

基本問題

1 次の文の連体詞に線を引きなさい。

- ① 部屋の中は、あらゆる場所に本が積まれていた。
- ② 山田さんは、たいした人物だと聞いている。
- ③ 父は、大きなバッグに必要な書類を詰め込んだ。
- ④ あの建物は、オリンピックを記念して建てられた。

2 次の線の副詞の種類を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① まるで、夢のようだ。()
- ② 妹がそと部屋を出た。()
- ③ この坂はたいへん急だ。()

ア 状態の副詞 イ 程度の副詞 ウ 呼応の副詞

3 空欄の次の()に当てはまる副詞を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は、一度だけ使います。)

- ① ()失敗したのが、考えてみよう。()
- ② 彼女の瞳は、()玉石のようだ。()
- ③ 知らない土地なので、()気が休まらない。()
- ④ ()負けても、思に残すことはない。()

ア 少しも イ たとえ ウ まるで エ なぜ

攻略 全て呼応の副詞なので、どの言葉と呼応するか考える。

2 副詞 () に教科書の言葉を書き入れなさい。

①	()の副詞	動作が <u>どの</u> もは様子で行われているかを表す。	例いつも
②	()の副詞	状態が <u>どの</u> いかに表す。	例とても
③	()の副詞	下にきまつた言い方がくる。	例全く

3 接続詞 () に教科書の言葉を書き入れなさい。

順接		前後の事柄の関係が、素直に考えられるとおりのもの。	例だから 例すると
①	()	前後の事柄の関係が、素直に考えられるのとは逆のもの。	例しかし 例ところが
②	()	事柄を付け加えたり、並べたりするもの。	例そして
③	()	後で説明や付け足しをするもの。	例すなわち
④	()	前後の事柄を比べたり、どちらかを選んだりする関係のもの。	例一方 例または
⑤	()	前とは別の事柄を持ち出すもの。	例ところで

4 感動詞 () に教科書の言葉を書き入れなさい。

- 感動詞は、気持ちの表現や呼びかけ()などに用いる。

4 次の線の接続詞の種類を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 彼女は歌がうまい。そのうえ、ピアノも上手だ。()
- ② 朝早く家を出た。ところが、電車が遅れて遅刻した。()
- ③ 野菜の値段が高い。なぜなら、雨が降らないからだ。()
- ④ ところで、お母さんはお元気ですか。()
- ⑤ カーテンを開けた。すると、朝日が差し込んだ。()
- ⑥ 山沿いは雨だ。一方、海岸沿いは晴れている。()

ア 順接 イ 逆接 ウ 累加・並立
エ 説明・補足 オ 対比・選択 カ 転換

5 空欄の()に当てはまる接続詞を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 雨が降っている。()、練習は行われる。()
- ② 関係者()ご臨席の皆様にご感謝します。()
- ③ お昼になった。()、今日は何を食べようかな。()
- ④ 今週末は、海へ行こうか。()、山へ行こうか。()

ア さて イ ならびに ウ それとも エ しかし

攻略 ()の前後の文や語句がどんな関係かを考える。

6 次の文の感動詞に線を引き、その意味を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① おうい、田中君。待ってくれ。()
- ② えっ、どうして忘れたの。()
- ③ はい、承知いたしました。()

ア 驚き イ 呼びかけ ウ 応答

知識の泉 A 1. 保証=保証して守ること。保証=確かだとおっしゃること。補償=損害を償うこと。

知識の泉 Q 「抽象的」の対義語は?

例②書での「登場は、えんじもくだけり」

- 教科書の「語彙」 日本語読後4
- 1 ①文脈 ②多義語
- 基本問題 日本語読後4
- 1 ①ア ②エ ③カ ④ク
- 2 ①エ ②イ ③ア ④カ
- 3 ①カ ②ク ③イ
- 4 ①素る ②磨い ③手

解説

基本問題

素るや磨きの文章を書こう

- ★ 1 素るは、読む人が必要とする情報だけを載せることが大切である。
- 2 メモにある「保護者の車での来場はため」という部分を、保護者向けの言葉に直す。

基本問題

日本語読後4

- 3 ①あらわけるという意味の選択肢はアである。②まっすぐに縦にするという意味である。③「口に合う」という場合の「口」は、食べ物好み、味覚という意味である。

文法のポイント 単語の分類

78〜79ページ

教科書の「語彙」

- 1 ①自立語 ②付属語
- 2 活用
- 3 ①名詞 ②動詞
- 4 ①動詞 ②形容詞 ③形容動詞 ④名詞 ⑤連体詞 ⑥副詞
- ⑦接続詞 ⑧感動詞 ⑨助動詞 ⑩助詞

基本問題

- 1 ①公園で同じ学校の生徒に会った。

- ①だんねん ②くぐせ
- 2 ①優雅 ②不愉快 ③罰 ④冒険 ⑤舞 ⑥眺
- 3 ①カ ②ア ③イ
- 教科書の「語彙」
- 1 (1) 私 (2) 僕
- 2 (1) チヨウ (2) ①模範少年 ②専門家
- 3 ①汚して ②憎んで ③喜ぶ ④至 ⑤送み ⑥押しめた
- ⑦隠蔽 ⑧償い
- 【おぼえごころ】 「順に」 イ・ア

82〜83ページ

- ★ 1 宝を探す人
- 2 微妙な喜ぶくた気持ち
- 3 イ
- 4 幼稚な設備
- 5 (1) エ
- (2) 模範少年
- (3) そのため
- 6 例①少年に「こつぱい」といって批評を受けたため、自分の獲物に対する喜びがかなり傷つけられたから。
- 例②書ひ少年から厳しい批評を受けて、自分の獲物に対する喜びを傷つけられるのが嫌だったから。

解説

- ★ 1 問題文に「何にだたえられていますか」とあるので、文章中から「**感**」を使った表現を探すとよい。「僕」が待ち伏せをしている様子は「まるで宝を探す人のように」と直喩を使って表現されている。
- 3 **重要** 「僕」がチヨウ集めをしている場面では、「輝いている色の斑点の一つ一つ、透き通った羽の脈の一つ一つ……」というように、「僕」がチヨウを細部まで見つめ、その美しさを細部に

- 2 ②九時までに宿題を終わらせた。
- ①明日から雨が降るらしい。
- ③ ①イ ②ク ③ア ④カ ⑤カ ⑥コ ⑦オ ⑧エ ⑨ウ ⑩キ
- 4 ①あの鳥には、大きいくちばしがある。
- ②この数学のテストは、とても簡単だ。
- 6 イ
- 5 ①晴れていたのだから、ふとんを干した。
- ②熊のような犬に追いかけられる。
- 7 ①ア ②カ ③イ ④ク ⑤キ ⑥エ ⑦オ ⑧ウ ⑨イ ⑩コ

解説

- 1 ①「会った」は「会う」＋「た」である。②「まで」と「に」は別の単語になる点に注意しよう。
- 2 ①「らしい」は助動詞であり、「らしく（た）」「らしくれ（は）」と活用する。②「できた」は「できる」＋「た」である。
- 3 ③「静かです」は形容動詞の「静かだ」を丁寧な言い方にしたものである。
- 4 ①「大きい」は形容詞、「ある」は動詞である。②「簡単だ」は形容動詞である。
- 5 アは形容詞、ウは助動詞である。
- 6 ①「晴れていた」の「い」は、補助動詞の「いる」である。

少年の日の思い出

80〜81ページ

教科書の「語彙」

- 1 ①ウ ②ひしもち ③の ④かんだか ⑤ゆづも
- ⑥きんちもち ⑦えもの ⑧ねた ⑨ゆづわく ⑩ころも

- 感じ取っていることが分かる。また、「捕らえる意欲に鳥も詰まりそうになり」などの表現から、「僕」がチヨウ集めに夢中になっていることが読み取れる。
- 5 (1) 「非の打ちどころがない」とは、非難するところがないつまり、完全であるという意味である。それを「僕」が「悪徳」だと考えていることに注意する。欠点がないことは、人間らしさがなく、親しみが感じられないのである。
- (3) 問題文に「どのような感情を持っていましたか」とあるので、感情を表す表現を手がかりにして探す。よい。「妬み」「嫉妬」「憎んでいた」などは、感情を表す表現である。ここから「僕」が、少年に対して、尊敬する気持ちと憎む気持ちという相反する感情を持っていたことを読み取ろう。
- 6 **記述対策**
- ・考え方… 「僕」が少年に獲物を見せなくなった理由は、直前の文に述べられている。「こつぱい」といって批評家は、少年を指していることを押さえる。
 - ・書き方… 「こつぱい」といって批評家が少年であることが分かるように書く。記述の問題は、文章中の言葉を使って答えることが多いが、内容が分かりにくい場合は、言葉を補って解答を書こう。

84〜85ページ

- ★ 1 例①シヤクヤママゴの有名な環境を見たいということ。
- 2 四つの大きな不思議な斑点
- 3 ウ
- 4 送みをした、下手なやつだ・恐ろしい不気
- 5 ア
- 6 例①シヤクヤママゴが潰れてしまったこと。
- 7 イ

8 重要 直前の段落の「視聴者の関心が高い話題」「視聴者はたいてい関心を持たない」に着目する。ニエースを取り上げる基準になるのは「視聴者の関心の高さ」であることが分かる。

- 102 103 ページ
- ★ 1 ① 例文では、視聴率が高いとフジテレビからの広告料がたかくなることから、例文のテレビ局も、なるべく多くの人に視聴してもらおうと考えるから。 [順不同]
- 2 1
- 3 例ニエースの視聴率が高くなってきて、「ニエースでもお金になる。」と考えるようになった。
- 4 1
- 5 例高い視聴率が取れるニエース番組を作るため。
- 6 例テレビのキャスターやコメンテーターの発言は、個人の意見なので、常に正しいとは限らないから。例テレビのキャスターやコメンテーターが、正しい知識に基づいて発言しているか分からないから。
- 7 意図やねらい・編集 8 ア

解説

★ 1 — 線①の後の部分では、「Aだし、Bだから、視聴率を意識します」という形で意見が述べられている。この文章の構造が分れば、AとBの部分で、視聴率を気にする二つの理由が述べられている部分だと分かる。

2 「一般に企業の『社会的責任』とは、企業が利益を追求するだけでなく、社会にどのような影響を与えるように考え活動することをいう。テレビ局の場合は、公共の電波を使う立場にあるので、視聴率が見込める娯楽の番組ばかり制作するのではなく、社会的責任として、人々が社会生活を営むのに必要な情報の提供を行わなければならないのである。

4 □の前の段落では、高い視聴率が取れるニエース番組を作れ、という流れになってきたことが説明されている。そして、□の後では、その結果、ニエースの内容に表れた変化について述べられている。事柄が順当に進んだことを表す接続語が入るので、□の「そこで」が入る。

- 5 ① 考え方…テレビのキャスターやコメンテーターの発言は、ニエースについての「個人の考え」や「個人の見方」を述べたものだ。これらは、「事実」ではなく、「主観的」なものだということを押さえる。② 考え方…個人の意見なので、正しいかどうか分からないということが書いてあれば正解である。
- 7 重要 — 線④が含まれる段落は、この文章のまとめに当たる部分である。筆者は、これまで述べてきたニエースの編成の例に対して、受け手としてどんな姿勢でニエースを見てほしいかを述べている。
- 8 アは「ときには送り手になってみることも必要である」というところが問題点である。筆者は、ニエースの受け手であるだけでなく、ニエースを自分なりに判断していくことがだいたいと述べている。

話し合いで理解を深めよう／心に残る出来事を見直しよう

102 103 ページ

★ 1 ① 行事 ② チームワーク

★ 2 1 A 3 イ

★ 1 歓迎できなかった・楽しみ

★ 2 1 果の再利用

★ 3 1 1

★ 4 1 1

話し合いで理解を深めよう

- ★ 1 ① 里香さんの「行事に関する意見が多いね。」という言葉に着目する。
- 3 優太さんの「勉強やスポーツが得意な人が、苦手な人をリードして、教え合ったり支え合ったりする」という言葉や、美奈さんの「誰かが失敗をしても責めないで、フォローしようとする」という言葉から考える。クラスの人々のことを思いやり、助け合おうとするという共通点が見出せる。

心に残る出来事を見直しよう

- ★ 1 最初はツバメの巣ができることを歓迎できなかったが、子ツバメたちの元氣いっぱいな姿を見て、観察するのが楽しみに became というふうに変化したことを押さえる。
- 3 第一段落では、ツバメの巣にまつわる言説を紹介し話題を提示している。その後、自分の家の玄関先にツバメの巣ができたという体験を述べ、最後の段落で最初の段落で提示した言説に関する自分の考えを述べている。
- 4 擬音語は、「ビュビュ」という子ツバメの鳴き声を表すのに用いられているが、人物の様子を表現するためには用いられていない。したがって、エが当てはまらない。

文法の器と 連体詞・副詞・接辞詞・感動詞

- ★ 1 ① な ② だ(だ) ③ る
- ★ 2 ① 状態 ② 程度 ③ 時点(副詞・接辞)
- ★ 1 ① か ② せんとく
- ★ 2 ① 洗濯 ② 刈
- ★ 1 ① 寝坊 ② 押手 ③ 名譽 ④ 形見 ⑤ 転居 ⑥ 伝書

- ★ 3 ① 接続 ② 累加・並立 ③ 語句・補足 ④ 対比・選択 ⑤ 転換
- ★ 4 1 優著

- ★ 1 ① 恐らゆる ② たいした ③ 大きな ④ ぬい
- ★ 2 ① 1 ② ア ③ イ
- ★ 3 ① 1 ② 2 ③ ア ④ イ
- ★ 4 ① 1 ② イ ③ 1 ④ 1 ⑤ ア ⑥ 1
- ★ 5 ① 1 ② イ ③ ア ④ 1
- ★ 6 ① 1 ② イ ③ ア ④ 1

2 ① 「まるで」は、ほかのものにたとえるときに使う言葉である。後に「ちがった」「みだりだ」などの言い方がくる。

漢字の成り立ち

- ★ 1 ① えんじちつ ② しゅつじん ③ ちんがく ④ ちつぱい ⑤ がくは ⑥ まわつ ⑦ せしめい ⑧ まわし ⑨ せそく ⑩ せせし ⑪ せせき ⑫ せせたく ⑬ しちつやく ⑭ こまつ ⑮ ちちまつ
- ★ 2 ① 選択 ② 花言 ③ 巨匠 ④ 摩察 ⑤ 犠牲 ⑥ 阻止 ⑦ 相説 ⑧ 衆
- ★ 1 ① 寝坊 ② 押手 ③ 名譽 ④ 形見 ⑤ 転居 ⑥ 伝書
- ★ 2 ① 1 ② イ ③ ア ④ 1 ⑤ ア ⑥ イ ⑦ 1 ⑧ 1 ⑨ ア
- ★ 3 ① 1 ② 1 ③ 1